

第9章 鎌倉市環境教育行動計画

1 環境教育（目標項目⑯）

目標：意欲的に環境保全に取り組む人を育てます。

◆基本方針

- 持続可能な社会の形成に向けた環境教育を推進します。
- 自ら行動しようとする「こころ」を育てます。

持続可能な社会を構築していくためには、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた実効性のある取組を実践することが必要であり、このためすべての人を対象とした環境教育の充実が不可欠であることから、平成 15 年(2003 年)に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）」が制定され、平成 23 年度(2011 年度)には協働取組の推進等を盛り込み、題名を「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」として改正されました。

自然的環境と歴史的環境に恵まれた本市では、環境に対する市民の意識が高く、幅広い分野で市民による自発的な環境保全活動が行われています。

本市では、平成 19 年(2007 年)に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定し、また平成 27 年度(2015 年度)には持続可能な開発のための教育（ESD）の趣旨を反映するなどし、「鎌倉市環境教育行動計画」として改めて策定しました。本市ではすべての人が身近な環境から国や世界、将来世代の環境を意識して行動できることを目指した環境教育を推進しています。

目標を達成するための取り組み

第1節 ライフステージに応じた環境教育の実施

環境教育は継続的に行うことや、年齢・ライフステージに応じて取り組んでいく必要があるため、環境問題に関心を持つための情報提供や学習会等の実施を推進し、環境保全に対する知識の増進及び知識の芽の育成に取り組みます。

令和 5 年度の主な事業は以下のとおりです。

主な事業	事業内容	実績
夏休み子ども向け自然観察会（少年期） 【環境政策課】	環境保全の普及啓発のため、夏休み子ども向け環境学習会を開催します。	令和 5 年度(2023 年度)は実施なし。
出前講座（少年期） 【環境保全課】 【ごみ減量対策課】	＜環境保全課＞ 小中学校の児童生徒を対象に、大気汚染やエネルギーの有効活用等、環境についての講義を実施します。 ＜ごみ減量対策課＞ 市内保育園、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象に、ごみの減量・資源化の啓発等についての講座を実施します。	＜環境保全課＞ ○水生生物等環境調査 令和 5 年度（2023 年度）実績：参加校：1 校、参加人数：68 名 ＜ごみ減量対策課＞ 主に取材形式等による環境教育を 12 件実施しました。
下水道に関する啓発活動の実施（少年期以上） 【下水道経営課】	下水道事業への理解や普及の促進維持活動の充実を図るため、PR 事業を実施します。	＜下水道経営課＞ ・ 9 月 10 日「下水道の日」に合わせ鎌倉市下水道週間を定め、市が独自に作

【浄化センター】		成した下水道啓発ポスターを、鎌倉市立の小中学校及び支所等に掲示しました。 ＜浄化センター＞ ・市内在住・在学の小学生とその保護者を対象に、「夏休み親子下水道教室」と題して、下水処理場の見学や簡単な水質実験等を行い、下水道事業の周知及び理解促進を図った。(参加者：15組 32名)
農業体験事業の実施 (少年期から高年期) 【みどり公園課】 (指定管理者) 【環境政策課】	アドバイザーの派遣や都市公園での農業体験を実施します。	鎌倉中央公園において、(公財)鎌倉市公園協会と「山崎・谷戸の会」が協働して自然や農業に対する理解や関心を深めるため、市民を対象に農業体験を実施しました。 田んぼ体験(4月2日～3月10日)は延べ366人、畑体験(4月10日～3月11日)は延べ200人の参加者がありました。
食育に関する啓発活動の充実(少年期から高年期) 【市民健康課】	食品廃棄物の発生抑制や再生利用等の環境にやさしい「食」生活を推進します。	食に関する講座において、野菜の皮を使った出汁の取り方の紹介や、離乳食ストックの保存方法を紹介し、食品ロスが少なくなるよう声かけを行った。
緑の学校(青年期) 【みどり公園課】	緑の効用や仕組みへの理解を深めるため、講義や自然観察会を実施します。	令和5年度(2023年度)は10回開催され、受講者数は延べ166人の参加者がありました。

●環境に関する作品コンクール

＜みどり公園課・下水道経営課＞

夏休みの自由研究として、平成7年度(1995年度)から毎年、市内の小学校4～6年生と中学生を対象に環境保全に関するポスターの「作品コンクール」を実施しています。

令和5年度(2023年度)は、応募者数39名、うち優秀賞が17名でした。

9月10日の「下水道の日」にちなみ、公益社団法人日本下水道協会及び(株)日本水道新聞社主催で、小中学生及び一般の方からポスターや書道作品を募集する「下水道いろいろコンクール」を実施しています。

鎌倉市立の小中学校及び支所等にポスターの掲示等を行い、コンクールについて周知しました。

市民や青少年を対象に、環境保全に関心を持ってもらうため、表9-1のとおり講座を開催しました。

表9-1 環境保全関連講座開催状況

講座名	開催期日・主催	参加者数
オギ原で遊ぼう！ ～オギ原の環境保全～	令和5年4月4日 放課後かまくらっ子やまさき	23名
初めてのSDGs	令和5年4月19日 放課後かまくらっ子にしかまくら	33名
竹落葉と水路の手入れ	令和5年4月28日 放課後かまくらっ子やまさき	18名
ビーチクリーン	令和5年5月10日 放課後かまくらっ子こしごえ	55名
オギ原で遊ぼう！ ～オギ原の環境保全～	令和5年5月10日 放課後かまくらっ子やまさき	34名
ビーチクリーン@ちびっ こビーチセーフパーク	令和5年7月5日 放課後かまくらっ子こしごえ	52名
七里ガ浜海岸の海を知ろう	令和5年7月5日 放課後かまくらっ子しちりがはま	35名
SDGs ってなあに	令和5年7月18日 放課後かまくらっ子いまいずみ	29名
SDGs ワークショップ	令和5年7月20日 放課後かまくらっ子ふかさわ	106名
流木工作	令和5年7月24日 放課後かまくらっ子ふじづか	35名
SDGs ってなあに	令和5年7月25日 放課後かまくらっ子にしかまくら	75名
SDGs を学んでみよう	令和5年7月26日 放課後かまくらっ子いなむらがさき	20名
海の豊かさを知ろう	令和5年8月1日 放課後かまくらっ子こしごえ	47名
ペットボトルキャップで ワクチンを	令和5年8月18日 放課後かまくらっ子いまいずみ	54名
アイスの棒でリサイクル 工作	令和5年9月4日 放課後かまくらっ子こしごえ	40名
1年生にもわかるSDGs	令和5年9月27日 放課後かまくらっ子せきや	14名
水路の手入れ	令和5年10月10日 放課後かまくらっ子やまさき	16名
オギ原で遊ぼう！ ～オギ原の環境保全～	令和5年10月11日 放課後かまくらっ子やまさき	22名
流木細工をつくろう	令和5年11月8日 放課後かまくらっ子だいいち	38名
ビーチクリーン	令和5年11月29日 放課後かまくらっ子こしごえ	40名
鎌倉菓子パッケージで遊 ぶアップサイクル工作	令和5年12月26日 放課後かまくらっ子いまいずみ	40名
オギ原で遊ぼう！ ～オギ原の環境保全～	令和5年10月11日 放課後かまくらっ子やまさき	14名
アルミ缶竹とんぼリサイ クル工作	令和6年1月17日 放課後かまくらっ子ふかさわ	63名
谷戸のしばかり	令和6年1月26日 放課後かまくらっ子やまさき	12名
アルミ缶竹とんぼリサイ クル工作	令和6年2月5日 放課後かまくらっ子やまさき	30名
古紙を使った紙袋作り	令和6年2月19日 放課後かまくらっ子ふかさわ	33名
竹の切り出し	令和6年3月15日 放課後かまくらっ子やまさき	17名

身近な自然環境や生活環境等に興味を持ち、環境保全に対する認識を深めたり、行動力等を身に付けたりするという、いわゆる「生きる力」の育成に視点を置きながら、地球環境の問題や、リサイクル、ごみ問題などをテーマにして、市内小・中学校において、総合的な学習の時間での環境教育・学習の充実を図っています。

表9-2 公立小・中学校における環境教育の取組（令和5年度）

学 校 名	内 容	学 年
第一小学校	海・野山で自然と触れ合う	1～3年
	稲、野菜、花の栽培・観察	全学年
	環境学習（ごみとリサイクル）	全学年
	環境学習（海）	4・5年
第二小学校	野菜、花の栽培・観察	全学年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	地域の自然調査	3年
御成小学校	環境学習（ゴミの分別）	全学年
	環境学習（ビーチクリーン）	5・6年
	野菜・花の栽培・観察	全学年
	自然との触れ合い	1・2年
	水の学習	4年
	稲の栽培	5年
	生物の飼育・観察	5年
稲村ヶ崎小学校	稲・野菜・花の栽培と観察	全学年
	自然との触れ合い	全学年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル）	4年
七里ガ浜小学校	生物の飼育、稲・植物の栽培と収穫	全学年
	広町の自然と触れ合う	1～6年
	環境学習（ごみ問題・リサイクル・水の学習）	4年
腰越小学校	稲・野菜・植物の栽培、観察	全学年
	生物の飼育・観察	全学年
	上下水道について	4年
	環境学習（海・ごみ・温暖化）	5年
深沢小学校	稲・野菜・草花の栽培と収穫	1～5年
	自然とのふれあい、観察	1～4年
	環境学習（ごみと水問題）	4年
	人と環境	6年
	谷戸の活動	5年

学 校 名	内 容	学 年
小坂小学校	稲の栽培・谷戸の活動	5 年
	野菜の栽培・収穫	1・2・4年・ 特別支援級
	水の学習	4 年
玉縄小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	環境学習（出前授業・水問題・SDGs・ごみとリサイクル）	3・4・6 年
	環境学習（稲・出前授業）	5 年
	水・森林の学習と調べ学習	4 年
	漁業（資源問題と調べ学習）	5 年
山崎小学校	地域の自然観察	全学年
	稲・野菜の栽培	全学年
	生物の飼育（カイコの飼育）	3 年
	環境学習（ごみ問題・水・リサイクル）	4・6 年
西鎌倉小学校	稲・野菜・花の栽培	1～3・5 年
	自然との触れ合い・観察	全学年
	環境学習（リサイクル）	全学年
	環境学習（宮ヶ瀬ダムほか・浄化センター・クリーンセンター見学）	4 年
今泉小学校	野菜・花の栽培	全学年
	自然との触れ合い・観察	1・2 年
	環境学習（山崎浄化センター他見学、水・ごみの調査・学習）	4 年
	環境学習（出前授業・稲（米）について）	5 年
富士塚小学校	稲・野菜・花	1～5 年
	植物栽培、畑づくり	1～3 年
	中央公園の自然と触れ合う	1～3 年
	環境学習（SDGs・水・ごみの調査・学習）	3・4 年
	谷戸の活動	5 年
関谷小学校	関谷川（水質調査）環境学習	6 年
	野菜、花の栽培	全学年
	地球の環境について（絶滅危惧種等）	4～6 年
	生物の飼育	3 年
大船小学校	野菜・花の栽培	1～5 年
	環境学習（水・ゴミについて）	4 年
	自然とのふれあい・観察	1～3 年
	生物の飼育	1・2・5 年
植木小学校	稲・野菜・花の栽培	全学年
	地域の自然観察	1～3 年

学 校 名	内 容	学 年
	環境学習（ごみ・水・リサイクル・エネルギー等）	4～6年
第一中学校	作物の栽培	特別支援級
	野菜の栽培	1・2年
	防災学習（逃げ地図・避難所体験・地域調査）	全学年
第二中学校	自然とふれあう体験活動	2年
	作物の栽培	特別支援級
御成中学校	南斜面の整備	科学部
	野菜の栽培	科学部
	海の清掃	ボランティア部
腰越中学校	海や川の清掃	1・2年
	植物の栽培	特別支援級
	自然体験（田植え）	3年
	地域学習（広町緑地）	1年
深沢中学校	作物の栽培	特別支援級 科学部
	防災学習（防災マップ他）	1～3年
	環境学習（SDGs）	1～3年
手広中学校	防災学習（防災マップ・避難所体験）	全学年
	学校緑化	全学年
大船中学校	「郷土」をテーマとする調査活動	1年
	作物の栽培	特別支援級
玉縄中学校	自然とふれあう体験活動	2年
岩瀬中学校	作物の栽培	特別支援級 自然科学部

●公立小・中学校における環境教育の取組例

学校名	鎌倉市立小坂小学校	代表者	校長 山里昌士
住所	鎌倉市小袋谷587	TEL	0467-44-1228
FAX	0467-44-2122	担当者	教頭 佐藤竜二
取組状況 1、2年生では、トマトの栽培など、栽培から収穫を学習しました。 4年生は、浄水場の見学など、水の学習を主に行いました。 特別支援学級では、4年生の水の学習に参加し、また、校内の畑でのイモの栽培・収穫を行いました。 5年生は、校内の池を田んぼにして、稲の栽培から収穫を学習しました。また、SDGsの学習として、環境問題について興味ある分野を調べ、調べて分かったことや自分の考えを発表しました。			

学校名	山崎小学校	代表者	校長 坂井泰雄
住所	鎌倉市山崎 2500	TEL	44-1232
FAX	44-2965	担当者	教頭 山内美智子
取組状況 山崎小学校では、全学年、地域の谷戸を活用して、自然観察や稲・野菜の栽培を行いました。谷戸には、田んぼや各学年の畑があり、バッタやヤゴなど生き物の観察ができます。 また、3年生では、生物の飼育(カイコの飼育)を行いました。理科や総合の時間を活用して、教育センターを通してカイコの卵をいただき、校内や谷戸の桑の葉で飼育しました。 4～6年生は、理科や社会、総合の時間に環境学習(ごみ問題・水・リサイクル)を行いました。			

学校名	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校	代表者	加藤 俊志
住所	鎌倉市雪ノ下 3-5-10	TEL	0467-22-0647
FAX	0467-22-0244	担当者	奥平 直子

取組状況

鶴岡八幡宮の隣に位置する本校は、2012年にユネスコスクールとして認定を受けています。ユネスコの理念やSDGsを意識した教育活動に取り組む中で、環境教育として長く続けているのは、中庭に鎌倉の自然を模したビオトープを子どもたち自身で作り、守る活動です。校舎と校舎の間にある中庭のひょうたん池をビオトープとして自然豊かな環境にすることで、生活科や理科の学習で生き物を観察したり、子どもたちが日々の生活の中で自然環境に興味をもつきっかけになったりしています。

ひょうたん池の整備はユネスコ委員会の活動として行っています。子どもたち自身が伸びた木の剪定をしたり、水中にたまった堆積物を取り除いたりして、池の植生や水質を保ち、池の中で暮らす鎌倉クロメダカやヌマエビ、ヤゴなどが過ごしやすい環境を維持しています。

令和5年度は5月の委員会活動で、水中生物や池の周りの植物の観察をしながら、ひょうたん池の整備を行いました。

1・2年生の生活科での学校たんけんや季節みつけ、4年生理科の春夏秋冬の生き物についての学習での観察、5年生理科のメダカを使った動物の誕生の学習、6年生理科の生態系に関する学習で、ひょうたん池を活用しました。

また、隣地にある附属鎌倉中学校の理科の学習で水中の微生物を観察する際にも活用しました。



ユネスコ委員会がひょうたん池の生き物を採取し、種類を調べたり、池の生き物を数日校舎に連れて行って紹介したりしました。



ため池である、ひょうたん池の水質を保つために、池の底に体積した落ち葉や枝を適度に取りったり、周りの木の剪定をしたりして、植生を守る活動を行いました。

●事業者による環境教育・啓発活動の実施

- ・節電や省エネ関係のポスターやビラ（行政や上部団体の作成したもの）を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。【湘南モノレール株式会社】
- ・学校教育支援活動として、出張授業を実施。令和5年度の鎌倉市内では、小学校3クラス、中学校1クラスを実施。【東京ガス株式会社】
- ・太陽光発電、風力発電モデルを使った子ども環境教室への協力を実施。【東京電力パワーグリッド株式会社】
- ・LED照明の環境貢献（省エネ性）について、出張講習を実施。（小学校でのLED工作教室実施など）【三菱電機照明株式会社】
- ・地球環境の維持、森林資源の保全、生活の向上（健康・快適・経済）に繋がる省エネ住宅に関する講義、省エネ性・快適性を体感するモデルハウスの見学会を実施。【株式会社イソダ】

環境教育を実践できる人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進における指導者や教職員の育成や資質の向上に努めるとともに、指導者を地域の環境学習会等に派遣するなど、地域や学校の取り組みを支援します。

令和5年度の主な事業は以下の通りです。

主な事業	事業内容	実績
緑のレンジャー（ジュニア）の育成 【みどり公園課】	自然の生き物や草花とふれあうことで自然に対する意識の高い緑のレンジャー（ジュニア）を育成します。	令和5年4月から令和6年3月までに全11回実施し、30名（延べ232名）が参加した。
緑のレンジャーの育成 【みどり公園課】	市民との連携推進の一環として、豊かな兵陵の樹林地を管理する緑のレンジャーを育成します。	令和5年5月から令和6年2月までに全9回実施し、22名（延べ135名）が参加した。
アドバイザーの派遣 【環境政策課】	環境教育アドバイザー派遣制度により、環境に関する専門的な知識や経験を有する、アドバイザーを派遣し出前授業を行います。	講習会等に37回、200人のアドバイザー及び補助者を派遣。 受講者数延べ1,474名
学校職員の環境教育 【教育センター】	学校職員が環境に関する知識や技術を習得するため、環境教育の研修会を開催します。	鎌倉市初任者研修会 テーマ「自然体験から人間の感性を育てる」 講師 五感教育研究所 高橋 良寿 氏 日時：8月19日（金） 会場：県立足柄ふれあいの村 参加者：13名

第2節 環境教育をする場、素材の整備

環境保全活動や自主的な環境学習活動を促進していくために、水辺、緑地といった、環境学習フィールドとして適した場所についての地域づくりを推進します。

主な事業	事業内容	実績
緑地の整備促進 【みどり公園課】	自然環境の保全、活用を基調に、健康づくり、ふれあいや憩いの場づくりとして、緑地を整備・充実します。	社会資本総合整備計画に基づき、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を実施。山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は整備を行い、令和4年（2022年）5月16日に約26.5haへ区域を拡大。都市緑地部分は令和元年（2019年）7月26日に都市計画事業認可を受け、用地取得を実施中。市民の身近な森づくり事業（常盤山特別緑地保全地区、寺分一丁目特別緑地保全地区及び梶原五丁目特別緑地保全地区）を6回実施。
公園の整備促進 【みどり公園課】	自然とのふれあいのできる場づくりとして、都市公園の整備を行います。	社会資本総合整備計画に基づき、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を実施。山崎・台峯緑地については、風致公園拡大区域部分は整備を行い、令和4年（2022年）5月16日に約26.5haへ区域を拡大。都市緑地部分は令和元年（2019年）7月26日に都市計画事業認可を受け、用地取得を実施中。
ハイキングコースの維持管理 【観光課】	市民、観光客が豊かな自然に親しむことのできるハイキングコースの維持管理を引き続き行います。	市民及び観光客が利用しているハイキングコースについて、安全で快適な状態に保たれるようにパトロールを実施しました。また、令和5年度（2023年度）は、利用者が安全にハイキングコースを利用できるように天園及び大仏ハイキングコースの危険木処理を実施しました。
ビオトープ等の整備 【環境保全課】	市庁舎前に整備したビオトープにおける生物の自然な生息を維持し、自然観察の場を提供します。	平成13年（2001年）に隣接する御成小学校の児童とともに市庁舎前の池をビオトープとして整備し、来庁する市民等が身近に自然観察を行える場として維持管理を実施。
鎌倉の環境保全の解説 【環境保全課】	希望者に鎌倉の環境保全についての解説を実施します。	令和5年度（2023年度）は実績なし。
日本遺産事業 【日本遺産いざ鎌倉協議会】	日本遺産の情報発信、普及啓発等のため、事業を行います。	平成28年（2016年）4月に認定された日本遺産のストーリーを通じて、魅力発信等の取組を進めました。また、令和5年度（2023年度）では、周遊マップを作成し、日本遺産ストーリーへの理解を深めるとともに、歩く観光を推進しました。

環境教育をする場、素材の整備におけるその他取り組み

●生涯学習ガイドブック

＜生涯学習課＞

ホームページで公開している「生涯学習ガイドブック」には、様々な分野の生涯学習の指導者、学習グループ・サークル、生涯学習施設などを掲載しており、自然や環境の分野に関わりのある指導者、グループについても募集しています。

●教育資料の刊行

＜教育センター＞

学校における学習資料など、環境分野の教材の充実に努めています。小学校3・4年生社会科学習資料「かまくら」や中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」、中学校理科学習資料「鎌倉の自然」において、市の環境政策の概要や市内に生息する動植物・地質などについて紹介しています。

●環境に関する図書館資料の充実

＜中央図書館＞

鎌倉市図書館には、環境をテーマとした資料が3,972点(図書3,722点、雑誌117点、AV資料133点)(令和6年(2024年)3月現在)あり、市民の環境学習を支援しています。

第3節 環境教育に関する情報提供

「ライフステージに応じた環境教育の実施」、「環境教育を実践できる人材の育成と活用」、「環境教育をする場、素材の整備」の施策を充実させるため、環境教育に関する情報提供を行います。

●広報かまくら

＜広報課・担当課＞

市の情報提供媒体として、原則毎月1回発行している広報紙「広報かまくら」があります。主な環境教育関連記事として、リユースネットかまくら、リサイクル推進会議、野生動物への対応、光化学スモッグへの注意喚起、食品ロス削減、地球温暖化防止、おうちでエコ活、冬の省エネ、再生可能エネルギー・省エネ機器等設置に補助金、などを掲載しました。

●鎌倉ごみ減量通信

＜ごみ減量対策課＞

鎌倉市のごみ減量・資源化施策を紹介する鎌倉ごみ減量通信を1回発行しました。

●J:COM 湘南・神奈川

＜広報課＞

ケーブルテレビ「J:COM 湘南・神奈川」の「鎌倉市からのお知らせ」として、1回10分程度の番組を毎月1日～15日、16日～その月の末日の各約15日を1サイクルとして年間24本制作、1日4回の放映を行い、環境関連を含む市のさまざまな情報について紹介しました。

●かまくらFM

＜広報課＞

かまくらFMの市政情報番組「かまくらじお」でも、環境関連を含むさまざまな市の情報について放送しました。放送は月曜日～金曜日は1日6回、土・日曜日は1日2回です。

●市ホームページ (<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>)

＜広報課・担当課＞

インターネットを活用し、環境関連などさまざまな情報を発信しました。従来、紙媒体で提供していた情報から電子情報への切り替えによる紙資源の節減などを通じて循環型社会の形成に役立っています。

また、生活環境のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/index.html>) では、「鎌倉市の環境政策」、「環境調査データ集」などのデータのほか、その時々環境トピックスも掲載しています。あわせて環境計画のページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/seikatsu/kankyouseisaku/kankyokeikaku/index.html>) では、「かまくら環境白書」などの各計画について掲載しています。

なお、ごみ・リサイクルのページ

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kurashi/gomi/index.html>) でも、「資源物とごみの分け方・出し方」などを掲載し、循環型社会の形成に向けて情報を公開しています。

●facebook(<https://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>)

＜広報課・担当課＞

主に行政情報やイベント情報をお知らせしており、随時更新しました。

●X (旧 twitter) (鎌倉市インフォメーション) (https://x.com/kamakura_koho)

＜広報課・担当課＞

主に行政情報やイベント情報をお知らせしており、随時更新しました。

●Youtube (<https://www.youtube.com/user/KamakuraOfficial>)

＜広報課・担当課＞

J:COM 湘南・神奈川で放送した市政情報番組「鎌倉市からのお知らせ」や市長記者会見などを掲載しました。

●市公式LINE

＜広報課・担当課＞

Bot 機能を搭載したごみに関する市の別アカウント「鎌倉ごみ調べ」をリッチメニューに掲載し、また、ごみの出し方などについて情報発信しました。

●暮らしのガイドブック

＜広報課＞

暮らしのガイドブックは市役所の窓口などの行政情報や日常生活に役立つよう作成された冊子です。中ほどにある特集ページでは、ごみ減量への取り組みを掲載し、特集ページに続いて行政ページでは、資源物の収集方法や生ごみ処理機の助成制度なども掲載しました。

●市公式 note (<https://kamakura-city.note.jp/>)

＜広報課・担当課＞

マガジン「そらうみまちきれい」において、ごみの分別方法など市の環境に対する取り組みなどを掲載しました。

■各主体との連携

●環境保全団体活動に対する支援

＜環境保全課＞

市では、市内の環境保全団体の自発的な活動を促進するための支援策として、環境保全に関する学習会等を行う場合に講師を派遣する助成のほか、活動における通信費の負担を軽くし、多くの環境保全情報を提供するため、環境保全団体の会員の方への会報などを郵送する通信助成を行っています。さらに、環境保全団体が実施する催しについての後援も行っています。後援の内容は、後援名義の使用承認、催しの施設提供、「広報かまくら」への掲載及び必要な電話の取次ぎなどです。なお、これまでの実施状況は表 9-3 のとおりです。

表 9-3 環境保全団体に対する支援の実施状況

年度 \ 項目	通信助成		講師派遣助成		後 援	
	団体数	支援実績	団体数	支援実績	団体数	支援実績
令和 2 年度	1	50 通	—	—	1	1 回
令和 3 年度	1	47 通	—	—	2	2 回
令和 4 年度	1	52 通	—	—	4	6 回
令和 5 年度	1	74 通	—	—	4	6 回

●市内環境保全団体等の活動状況

＜市民・事業者＞

市内には、自然保護、美化、環境教育など環境保全に関する様々な活動を行っている市民団体があります。

これらの団体から令和 5 年度（2023 年度）の活動内容を報告してもらい、個人情報を除く、原文のまま掲載しました。

団体名	特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会	会員数	325名	代表者	相川明子
目的	鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観や多彩な動植物を保全する				

【活動内容】

「鎌倉中央公園」第一工区開園(1997年)以来、運営協力してきた谷戸ボランティアの会10団体の各活動を継承し、準備会議を重ね2004年4月に全面開園に合わせて行政との協働で本会を発足させました。2008年4月より特定非営利活動法人団体となりました。

当会は7つの活動班①田んぼ班(湧き水を利用した伝統的作業の米作り)②畑班(根菜・豆・麦等を中心に、昔ながらの循環型の無農薬農法)③雑木林管理班(下草刈りや間伐などの雑木林の手入れなど)④農芸班(農産物・谷戸資源の加工)⑤自然遊び班(農作業の手伝いを含む子どもの自然遊び)⑥生態系保全班(動植物の観察や調査、小動物が住みやすい環境作り)⑦植物育成班(谷戸に自生する植物の保護、育成)に分かれ、鎌倉中央公園内の谷戸を昔ながらの農文化を継承して谷戸の景観と生態系を保全しています。

<年間の活動>

- ・7つの班による、季節に応じた保全活動を実施(270回)、うち70回は(公財)鎌倉公園協会との協働事業
- ・事務局の運営(木曜を除く毎日6時間、交代制で実施)、一般市民、各種団体の問い合わせ対応・案内、行政交渉、広報活動、各メディアからの取材対応、谷戸パトロール、各班の平日補助作業等
- ・谷戸まつりを開催し(年2回)、保全活動による収穫物の炊き出し、自然体験提供
- ・会報の発行(年6回)谷戸塾開催(全45回 内訳:田んぼ・畑・雑木林管理班の作業各38回、谷戸講座7回実施)環境省主催モニタリングサイト1000里地調査

<行政、公園課、公園協会との協働など>

3者協議に出席。公園利用者懇談会出席。

<主要事業及び(公財)鎌倉公園協会との協働事業>

理事会(3回)、谷戸まつり(2回)、子ども里山体験、どんど焼き、活動連絡会議の開催(1回/月)、「ホタルの紙芝居」とパトロールをしました。

<体験学習の受け入れなど>

鎌倉市環境政策課・環境アドバイザーに登録し、学校との連携を深めています。毎回、事前に学校、担当者間で打合せ、実施後は担当者・体験学習スタッフ間で反省会を行い、活動記録を作成し充実化に努めています。深沢小学校3年生・5年生 特別支援教室ひだまり 富士塚小学校5年生 鎌倉遊び基地ふかふか学童、フリースクール largo 東京都板橋区立上板橋第二中学校2年生の受け入れをしました。

<他団体の受け入れなど>

自然環境復元協会主催 ボランティア(かまくらレンジャーズ)保全活動受け入れ・かまくら子育て支援グループ懇談会と共催 「サトイモとどろんこ」・青空自主保育「やんちゃお」保全活動・青空自主保育「にこにこ会」保全活動・青空自主保育「なかよし会」保全活動・NPOセンター主催 高校生ボランティア体験受入れ・ NPO 法人かまくら冒険遊び場やまもりと協働開催「出張冒険遊び場」・神奈川県気候変動調査 ヒアリング・ステークスホルダー会議参加をしました。

<他団体への訪問・交流・会議出席など>

山崎 例祭参列、かまくら子育て支援グループ懇談会月例会に出席、鶴岡八幡宮鶴の子会 林間学校講座、環境省委託 里地里山の保全活動に関するヒアリング調査協力、神奈川県立茅ヶ崎里山公園 県公園協会、茅ヶ崎里山倶楽部視察、深沢小ふれあい広場 参加しました。小袋谷御囃子会に注連縄用藁の頒布提供をしました。やんちゃ食堂に子どもの遊び道具を寄付しました。

<PR・展示活動>

NPOセンターフェスティバル参加

<取材・掲載>

鎌倉FM出演 グリーンボイス、鎌倉シーサイドステーションに出演しました。

<農産物の寄付 提供 農機具貸し出しなど>

近隣町内会、高齢者ケア施設、子育て支援団体

団体名	NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議	会員数	116 名	代表者	高井幸恵
活動目的	ごみ発生抑制、減量や資源化の市民意識の啓発、廃棄物の再利用促進活動を推進				

NPO 法人鎌倉リサイクル推進会議は、環境に出来るだけ負担をかけない暮らし方を基本に、持続可能な社会の構築を推進する活動を行うことを目的に、平成8年に発足しました。各部会に分かれて、笛田リサイクルセンターの工房施設内で活動を行っています。

【活動の内容】

- ・身近でできるごみの減量やごみにせず再利用を促す講座の開催
- ・かわら版・ホームページによる行事の案内及び啓発（毎月発行）
- ・鎌倉市不用品登録協働事業「リユースネットかまくら」の運営
- ・市民参加型ゼロウェイストを目指すイベントの開催
- ・リサイクルに関する相談アドバイス
- ・ウエスを集めて社会福祉協議会へ寄付
- ・インクカートリッジ里帰りプロジェクトやペットボトルキャップ回収に協力
- ・「まちのコインクルッポ」に参加

◆生活の知恵部会

- ・受託事業は 100 講座、自主事業は 72 講座、合計 172 講座を開催し、参加者は 1,519 人になりました。
修理修繕教室…2 回 リサイクル手芸教室…53 回 衣類リフォーム教室…45 回
リサイクル工作…9 回 その他の教室…63 回

◆イベント部会

- ・リユース食器市 6 月 12 日～6 月 23 日
- ・笛田リサイクルマーケット（ドライブインフリマ、古本市他）11 月 12 日
- ・笛田リサイクルマーケット（古着市、着物市他）3 月 24 日

◆展示部会

- ・リサイクル作品展 11 月 1 日～11 月 30 日
- ・常設展示や季節の展示（端午の節句、夏の展示、クリスマス、お正月）
- ・鎌倉地下道ギャラリー展示

◆環境部会

- ・「プラスチックと向き合おう」などのパネル作成
- ・資源回収協同組合の協力を得て「紙ごみ処理編」の動画作成
- ・夏の学習会は 8 月 3 日に鎌倉市と協業でパナソニック出前授業を、8 月 9 日にプラスチック中間処理施設見学とペットボトル工作を開催
- ・鎌倉リサイクル通信「ラ・ラ・ラ」第 33 号発行（年 1 回発行）

◆不用品登録協業事業

- ・本会と NPO 法人鎌倉シチズンネット、鎌倉市による不用品登録協業事業（リユースネットかまくら）で不用品の橋渡しを行いました。

【活動の成果】

- ・講座は少人数制ではありますが、講師・スタッフの努力が実り、どの講座も概ね 80%以上の参加となりました。一人一卓でミシン等も一人一台使用できる体制は、短時間でも効率よく作業ができると好評でした。

- ・コロナで休止し、4年ぶりに開催した「笛田リサイクルマーケット」は予想以上に盛況となりました。約800人が来館し、寄付された古本4,600冊のうち、1,400冊がリユースされました。「笛田リサイクルマーケット古着市」は、鎌倉市民の方から1,560kgの衣類寄付をいただき、約590人が来館し、630kgがリユースされました。



- ・不用品登録協業事業は、6月に「リユース食器市」、3月に「着物市」を開催することで、成立件数は1,370件と過去最高となりました。
- ・3年目となるウエス回収は215kgを社会福祉協議会に寄付しました。農家の余剰野菜の販売や東北支援活動（物販）、おもちゃ病院も継続して定着してきました。
- ・一年を通して来館者は5,128人（内講座参加者1,519人、イベント参加者1,390人）リユースネット利用者は3,510人で、当会は延8,638人にご利用されました。広報活動として、インスタグラムやFacebookを開設して活動の様子を配信するほか「まちのコインクルッポ」を活用し、多様な方々に来館していただけるような仕組みを作りました。
- ・本年度は他団体と横のつながりを作り、色々な立場や年齢の方々と、今まで培ってきた企画をブラッシュアップし、スタッフ総動員で力を合わせ充実した活動ができた一年でした。

団体名	認定 NPO 法人 鎌倉広町の森市民の会	会員数	567 名	代表者	西田哲治
活動目的	鎌倉広町緑地の指定管理者として都市林の保全に努めています。 貴重な自然を維持するとともに、都市林ならではの創造的な活用法を市民自らが生み出し、新しい環境保全のあり方を発信するため、地域の皆さまと共に活動しています。				
【活動の内容と成果】					
● 鎌倉広町緑地の施設維持・運営管理 指定管理者として公園施設、樹林地、緑地管理、湿地等の維持管理を行い、貴重な自然環境の保全、そして近隣住民や来園者の安全管理と快適な自然体験の創出に努めています。 ● 広町緑地の自然環境モニタリング 自然環境のモニタリングを当会が運営している市民ボランティア“5つの会”の一つ「自然観察の会」の協力を得て継続的に行っています。注目種のみでなく環境諸条件、植生、水量、昆虫、鳥類など多岐にわたる調査結果は広町緑地の保全方針に反映するとともに、毎年「自然観察調査報告集」としてまとめ、公共機関や市民等に公表しています。 ● 市民ボランティアと連携した里山保全活動 市民ボランティア“5つの会”により田畑、散策路、樹林帯の管理や動植物の保全活動を行っています。昨年度の延べ活動日数は 508 日、延べ参加人数は 3,500 名以上でした。地域の皆さまとの連携や広町緑地ホームページによる情報発信等を通じて、多くの市民が里山保全に参加する機会づくりに努めています。 ツリガネニンジンの花  ● 市民イベントや講座の開催 ～広町緑地の紹介や自然と触れ合う機会の創出～ 令和 5 年度は祭イベント（4 回）、講座・教室（5 回）、ガイド事業等（7 回）、子ども向け体験教室（8 回）等のイベントを開催し総勢 1,600 人以上にご参加いただきました。かまくら緑の探偵団も運営しており、子供向け体験教室と連携し活動しています。  7 月 水辺の生き物探し  11 月 お芋ほり（サトイモ）  12 月 クリスマスリース作り ● 環境学習の推進 地域の学校教育の場として活用していただくことにも積極的に取り組んでいます。令和 5 年度は近隣の保育園や小中学校の授業の一環として 500 名以上の児童、生徒が自然観察や畑の体験学習などを行いました。					

団体名	湘南・省エネネットワーク	会員数	19名	代表者	前島 仁
活動目的	気候変動、地球温暖化防止および脱炭素・省エネなどの普及啓発活動への取り組み				
【活動の内容】私たちはSDGsの気候変動、エネルギー、教育など社会的な課題解決の目標に取り組みました。					
(1) 気候変動：地球温暖化防止 「広く情報発信」 		特別講演会 「水素社会の実現」として水素生成、燃料電池などの開発・普及動向について横山宏氏を招聘して開催しました。 (18人受講) 環境賢人者会合 「脱炭素社会の到来」として、(1)エネルギーの供給側から見たエネルギー基本計画、エネルギーミックスや電源構成、電力需給の逼迫、エネルギー価格の急騰、原子力発電、(2)電気自動車(EV)と電池などの開発・普及動向、(3)エネルギーの需要側から見た省エネ法の改正、事業所・家庭での省エネ・節電対策などについて3回にわたり意見交換してパブコメに意見陳述しました。 (19人参加)			
(2) エネルギー：省エネ・再エネ 「省エネを多くの方と共に実践」 		省エネカレンダー を12月に制作して、毎月の省エネ目標と行動について省エネアイテムをチェックして実施するよう働きかけました。 (16人参加) 豊かな自然・環境と共生して知恵と工夫のスマートライフで湘南の四季を愉しむ環境との共生をテーマにしています。1年間分の季節の花や寺社、自然の光景などを写真、歳時記と平均気温などを参照しながら、徒然なるままに湘南の四季を省エネ俳句と共に愉しんでいただく趣向になっておりますので、多くの方々から好評をいただきました。 [参加者の声] すばらしい写真、省エネ四十八手などとても楽しみです。			
(3) 教育：環境学習・体験講座 		市民向け講座 :5回にわたって開催しました。(1)国際動向編:どうなる気候変動対策、(2)「国内の取り組み編」:どうする気候変動アクション、(3)水素社会づくり編:どう使う水素、(4)「EV社会の到来編:どう乗る電気自動車、(5)脱炭素の暮らし編:どう暮らすカーボンフリー (432人受講) [参加者の声]温暖化対策等、一つ一つ大切に取り組んで行かなければ、いけない問題と受け止め、心新たに、頑張っていきたいと思います。 慶応大学理工学部電気工学科卒業生のフォーラム で「気候変動アクションの最新動向」＜内外の動向と家庭の取り組み＞を講義しました。また、演習課題では、(1)エコリンピックによる評価、(2)日			

	本の電源構成の未来予測、(3)脱炭素の暮らしを自分事化について多くの方が脱炭素の暮らしを自分事化しました。 (9人受講) 鎌倉市職員受入・市民協働研修で鎌倉市の持続的な発展の為に、脱炭素社会に向けた気候変動対策へのアクションについて、身近な事例を基に家庭でのカーボンニュートラルへの取り組みなどに関する諸課題を討議しました。また、県内の他自治体とのベンチマーキング比較・考察、ベストプラクティスなどについても演習しました。 (6人/日受講)
(6) パートナースhip : 連携    	札幌市立西岡北小学校を訪問して省エネ共和国の状況について意見交換しました。「省エネ共和国」と呼ばれる国がまだ存在し、省エネルギー・紙ゴミ削減・節水などについて、大統領を務める校長先生の元、それぞれに全国民（小学生）が在籍し、学校内や地域の環境の向上に取り組んでました。 (3人参加) 創立25周年記念誌を作成して、他団体などへメールで配信しました。 環境や健康などをテーマにメールニュースを発信しました。 (5千人/回発信) パブコメは環境省へグリーンボンド、カーボンオフセット、デコ活について、神奈川県へ新たな総合計画、地球温暖化対策計画、地球温暖化対策推進条例について、鎌倉市へ学校整備計画について意見陳述しました。 (7回34件)
【活動成果】 自らの成果を広く市民に紹介 環境賢人者会合の開催：4回、参加者：19人回 メールニュースの発信：約280回、閲覧者：約5千人回 講座・フォーラムの開催：6回、受講・参加者：447人 政策提言・パブリックコメントへの応募：7回34件	【今後の取り組み】 SDGs への取り組みを展開 わたしたちの活動は小さな歩みで少しずつ発展し、地域からまちづくり、社会へと進化してきています。 SDGs への取り組みを継続して地域の未来社会に貢献できるように、今後も一層の活動を展開していきます。

団体名	鎌倉ボランティアクラブ	会員数	1,072 名	代表者	勝元 晋平
活動目的	まちの美化活動／環境出張教育／生物多様性活動の推進				

【活動の内容】

1. まちの美化活動

三菱電機(株)鎌倉製作所地区(関係会社(6社)*1 含む)の有志を募り、通勤で利用している工場周辺の道路を隔週で清掃する「通い道クリーン活動」を行っています。本活動は03年度より開始し20年間継続で活動を行っています。17年度からは湘南町屋駅に「鎌倉市アダプト・プログラム」ののぼり旗を掲げて美化活動への意識の高揚を図っています。

また、鎌倉市と藤沢市を流れる柏尾川沿いの県道304号線を、周辺企業3社*2と一体になり年1回の頻度で鎌倉の環境保全に繋げる清掃活動や、鎌倉市が共催する「クリーンアップ鎌倉2023」、「かまくらプラごみゼロウィーク」に有志を募り積極的に参加しています。

【活動実績】

1) 通い道クリーン活動	: 2023 年度	合計 1,072 名参加
2) 県道沿い清掃	: 2023 年度	合計 28 名参加
3) クリーンアップ鎌倉	: 2023 年度	合計 51 名参加

2. 環境出張教育

近隣小学校の児童に、鎌倉製作所で製造している製品や社員一人ひとりが取り組んでいる工場での環境への取り組み、工場周辺の清掃の社会貢献活動、絶滅危惧種を守る取り組みなどを紹介しています。23年度で16年目の活動となり、継続的に開催することで地域の子供たちへ環境マインドの醸成を図っています。

3. 生物多様性活動の推進

キンランとクゲヌマランの絶滅危惧種保全活動の様子や動植物育成状況調査(月1回)を実施し所内HPで紹介し保全活動の意識を高めています。

【主な取り組み】

1) 構内緑地の整備
2) 絶滅危惧種「キンラン」、「クゲヌマラン」の保護
3) 外来種「オオキンケイギク」の駆除

			
てんとう虫	紫陽花	絶滅危惧用の保護	外来種の駆除

*1: 関係会社
三菱電機エンジニアリング(株) 三菱電機ソフトウェア(株) 三菱プレジジョン(株)
三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ(株) 菱電湘南エレクトロニクス(株)
菱栄テクニカ(株)

*2: 周辺企業
(株)神戸製鋼所 藤沢事業所 (株)江ノ電バス藤沢 湘南営業所

団体名	鎌倉を美しくする会		会員数	12名	代表者	高田 晶子	
活動目的	2023(令和5)年度 落書きゼロとまち美化						
【活動の内容】							
・鎌倉市内の落書きは面積も広く観光地でもある鎌倉地区が最も多く、次いで大船地区、深沢地区、腰越地区、玉縄地区の順に推移しています。 ・鎌倉には、20年以上書き続けている常習犯がいて、7月に大船 1-8-5 理髪店のタイル壁が被害に遭いました。室外機と自販機が足場になったのです。落書きは「書かれたら直ぐ消す」が鉄則。所有者の了解を得て、頼もしいサポーターに手伝って頂き、消去することができました。このような協力、努力で落書きゼロのまちが維持されるよう務めました。							
							
・「きれいだと捨てにくい 書きにくい」 散乱ごみが目立つ大船駅東口界隈は、散乱ごみやたばこの吸殻のポイ捨ても多いので、通年ごみ拾いや草取り、道路の脇に溜まった土の除去などをし、まち美化にも貢献しました。							
月	落書き形態		貼紙形態		月合計	処理有無	
	タグ	絵	手書き	印刷		処理済	未処理
4月	13	0	7	8	28	28	0
5月	18	0	6	7	31	31	0
6月	20	0	1	5	26	26	0
7月	11	0	8	5	24	24	0
8月	10	0	21	3	34	34	0
9月	10	0	13	15	38	38	0
10月	14	0	11	8	33	33	0
11月	22	0	12	1	35	18	0

12月	3	0	9	3	15	15	0
1月	2	0	5	8	15	15	0
2月	3	0	2	5	10	10	0
3月	13	0	10	5	28	28	0
累計	139	0	105	73	317	300	0
合計	139		178		2019 年 282 件 2020 年 287 件 2021 年 423 件 2022 年 530 件		
総合計	317						

団体名	鎌倉自主探鳥会グループ	会員数	150 名	代表者	岩田 晴夫
活動目的	自然観察、自然保護、水質・動植物調査、環境教育、エコアップ作業、政策提言				
【活動の内容】 私達は、(公財)日本野鳥の会の神奈川支部の趣旨に基づき、野鳥を通じて自然に親しむと共に、自然の保護と住環境のアメニティー向上を図ることを目的として活動を実施しています。 ① 一般市民対象の定例自然観察会「鎌倉自主探鳥会」を毎月 2 回実施しています。 自然観察の精神と方法の普及、自然観察会リーダーの養成、地域的な自然保護活動の促進、都市公園と緑地のエコアップ(生息環境向上・生物多様性の保全)を図ること等が目的です。 コースの途中、佐助川の清掃・エコアップ・水質と水生生物調査、佐助稲荷のエコアップ(1993 年 5 月～)、源氏山公園の野鳥用水場の清掃、台峯緑地と鎌倉中央公園の動植物調査やエコアップ(1993 年 5 月～)等の作業を実施しています。 ② 源氏山公園の野鳥誘致施設の管理(1984～)をしています。 ③ 鎌倉市傷病鳥獣保護搬送システムへの協力を委託されています(1993～)。 ④ 平成 6 年以降、鎌倉市から鎌倉市緑のレンジャー(ジュニア)指導員の委嘱を受け、鎌倉市緑のレンジャージュニアの活動を年間 11 回指導しています。 ⑤ 鎌倉市道水路管理課から道路・河川維持管理協力員の委嘱を受けています(1997～)。 佐助川のエコアップ活動・水質調査・水生生物調査・清掃・草刈り等を実施しています。 稲瀬川の水質調査と水生生物調査も、実施しています。 ⑥ 鎌倉中央公園の管理運営協力団体として、鎌倉中央公園の管理に対し、既存の野生動植物ができるだけ保全されるように、基礎データを提供すると共に、具体的な方法を提示し、エコアップ作業と環境モニタリング調査を実施しています。 ⑦ 「鎌倉の海岸動植物の生息分布調査」をかまくら環境会議・鎌倉市緑のレンジャー指導員と協力し、鎌倉市の後援を得て実施(1996～)し、海岸動植物の保護策を提言しています。 ⑧ 神奈川県藤沢土木事務所による坂ノ下の災害復旧工事後のモニタリングを継続実施し、貴重種の保護と管理上の留意点を助言しています。 ⑨ (公財)日本野鳥の会の全国一斉ガンカモ調査に協力(1 月)しています。 ⑩ 鎌倉市内を春秋に通過するタカ類の渡り調査、鎌倉市内の自然環境台帳作り、酸性雨調査、河川の水質と水生生物調査、緑地のモニタリング調査等を実施しています。 ⑪ 自然保護団体や自治会・学校関係の自然観察会等に講師を派遣しています。 ⑫ 鎌倉メダカの系統保護を図ると共に、市役所前のビオトープ池の管理・モニタリング調査に協力しています。 ⑬ 特定外来生物のアライグマとクリハラリスの防除実施計画に協力しています。 ⑭ 貴重種・重要種に指定されている野鳥の繁殖環境保全に係わる自然環境調査等を実施中です。 ⑮ 保全緑地等で、トレイルカメラによる野生鳥獣のモニタリング調査を実施中です。 ⑯ 由比ヶ浜で、海砂に含まれるマイクロ・プラスチック等を調べた。					

【活動の成果】

鎌倉中央公園の湿生花園内に既存動植物の保全区域を維持しています。

主要緑地における環境モニタリング調査と湿地環境のエコアップ作業を継続しています。

近郊緑地保全地区や山崎・台峯緑地等の自然環境調査結果から、神奈川県と鎌倉市の整備・維持管理に対しアドバイスし、既存の野生動植物の保全に寄与しました。

重要な植物種を保護・移植・増殖する試みも実施しており、順調に推移しています。

獣類の“離れ”個体に係る情報等をまとめ、神奈川県と鎌倉市の関係機関に提供しました。

横浜国大附属小学校のビオトープ「ひょうたん池」を定期的にモニタリングし、維持管理について助言しました。

国史跡・永福寺跡の苑池や梶原7号緑地の調整池等のモニタリングを実施し、維持管理について助言を行い協力しました。

鎌倉市の許可を得て、市内の保全緑地や公園等にトレイルカメラを設置し、鳥獣の生態・保護に関わる情報の収集を図り、鎌倉市に情報を提供し、維持管理に役立てて頂いております。

タヌキの個体識別が可能となり、その生態についての知見が蓄積されています。

近年、温暖化の影響なのか、川の護岸や橋などの老朽化が目立つため、モニタリング結果を定期的に神奈川県藤沢土木事務所や鎌倉市等へ報告しています。



▲佐助川のカワトンボ



▲採餌中のノウサギ



▲頭をかくノウサギ



▲クチキコオロギ